

## 峠の合戦食（謙信笹ずし）開発プロジェクト事業

### 取り組みに至る背景・事業の目的

当概地域に伝わる郷土料理「笹寿司」は、上杉謙信が川中島の戦いで富倉峠を越える際に、集落の民が献上したと言い伝えのある野戦食であるが、集落の高齢化による伝承の担い手不足から存続の危機が叫ばれている。

2015年春の北陸新幹線飯山駅開業という転機は、飯山市にとって交流圏の拡大につながるひとつのチャンスではあるものの、その反面流出のみになってしまうことも懸念される。

そのため、郷土食である「謙信笹ずし」を「飯山に来たら必ず食べたい食事」にブラッシュアップし市外に発信していくとともに、より多くの市民に郷土食の普及と継承をしていく。

### 事業内容

- 1、高校生による新しい笹ずしレシピ開発  
(下高井農林高校との連携)
- 2、笹ずしレシピコンテストの開催
- 3、ブランドマークとパンフレットの作成
- 4、笹ずしの歴史と伝承の担い手の育成
- 5、謙信笹ずしの知名度向上のためのPR活動



【レシピコンテストの様子】

### 事業効果

- ・高校生によるレシピ開発やコンテストの開催により、地域食材の発掘や今後の活用提案、マスコミ等取材によりPR効果が図られたことの評価は大きい。
- ・ブランドマークの制定により、統一したPR活動が行えると同時に、事業者の意識改革につながった。
- ・北陸新幹線飯山駅開業に向けたお弁当開発などでの利用気運が高まっている
- ・若い世代や首都圏での体験教室は、今後の伝承者育成や広く飯山を知っていただくことにつながり、歴史や「言い伝え」を発展させた食べるシーンの提案（勝負メシ）への展開をしている。
- ・高橋まゆみ人形館隣りに「笹ずし」や郷土料理を売りにした飲食店がオープンした。
- ・いいやま雪まつりのイベントに取り上げられるなど、全市的に「笹ずし」に対して注目されてきている。

### 工夫・苦労した点、課題、今後の取り組みなど

- ・この協議会を通じて、本年度実施した内容を基本的に継続させていく。
- ・事業者同士の連携を深めるとともに、共同事業の機会を増やす。
- ・ブランドマークの利用を図るとともに、首都圏を中心にPR活動を行う。
- ・「笹ずしの具」の販売など、新たな土産品の販売に取り組むとともに、弁当への活用を推進する。

#### 【選定のポイント】

レシピコンテストの開催、お土産用パッケージや統一マーク等の作成、一般市民を対象にした料理教室や首都圏での体験教室の開催などにより、地域や若い世代など幅広く「謙信笹ずし」の知名度をアップすることができた。

現在、飯山駅開業に向けたオリジナル駅弁コンテストへの出展や、首都圏での試食会を開催するなど、様々な機会を捉えて普及活動に取り組んでいる。

飯山駅開業を契機に事業者同士が連携し、地域資源に再び光を当てるという時機を捉えた今後の展開が楽しみな事業である。

団体名 信州いいやま謙信笹ずし協議会（飯山市）	事業タイプ	ソフト事業
連絡先 0269-62-2162	事業費	935,771円
ホームページ <a href="http://www.tomikura-toge.com">www.tomikura-toge.com</a>	支援金額	664,000円
メールアドレス <a href="mailto:iicci@cocoa.ocn.ne.jp">iicci@cocoa.ocn.ne.jp</a>		